

理事長にインタビュー

理事長
み かみ いたる
三上 格 先生

「誰もが適切な治療を受け、健康な歯を保っていけるようサポート」

北海道苫小牧市の「医療法人社団 みかみ歯科・矯正歯科医院」は、地域に根ざし最良の医療を誠心誠意ご提供することをモットーに1991年に開院された歯科クリニック。理事長である三上格先生は、日本口腔インプラント学会指導医の資格を取得されており、長年経験を積まれたベテラン歯科医師です。

今回はそんな三上先生に、気になるインプラントのことやクリニックのことなどについて伺いました。

歯を失うという「負の連鎖」を大幅に減らせるのがインプラント

—— まずはいきなりの質問ですが、三上先生が考えるインプラントの最大のメリットとは何でしょうか？

私が最も重視しているのは、他の歯へ欠損が拡大するのを防ぐ、つまり「歯を保護する」効果です。歯は1本でも欠損すれば噛み合わせのバランスが崩れてしまい、他の歯に無理がかかって、さらに歯を失うという負の連鎖を引き起こしかねません。

そうしたリスクを大幅に減らせるのが、インプラントなんです。隣接歯を削ることなく、安定性の面でも



優れているのでおすすめです。

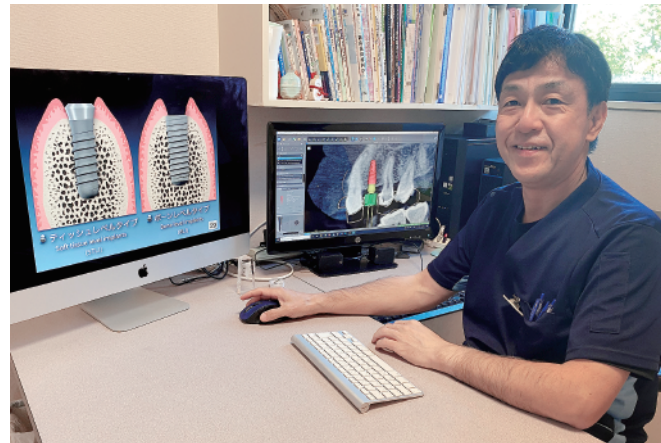
—— それでは、実際にインプラントにされた方のお声はいかがでしょうか？

「家族と同じ食事ができるようになった」とか「外へ出て人と話すのが楽しくなった」とか、皆さん嬉しそうに報告してくださいますよ。

当院では、一度治療した箇所を長持ちさせることを重視しています。インプラント治療後も、定期的なメンテナンスを継続することで、10年、20年とお口の健康を維持されている患者様が多くいらっしゃいます。

—— 皆さんとても楽しそうに人生を送られていますね！でも、インプラントは「何となく怖い」というイメージを持つ方も多いと思いますが、実際のところどうでしょうか？

異物を体に埋め込むのが不安だという気持ちはよくわかります。しかし当院が採用しているスイスのストローマン社製インプラントは非常に高品質で、世界中で信頼を集めています。これまで多くの患者様



の施術をしてきましたが目立ったトラブルもなく、自信を持ってお勧めしますよ。

痛みについては歯を抜く時と同程度であり心配はいりませんが、それでも怖いと思う方には麻酔医を手配して無痛治療を行うこともできますのでご相談いただければと思います。

患者様にとって最適な治療方針を組める体制が万全

—— ところで三上先生は、常に進化するインプラントの技術、知識をどのように習得されておられますか？

ITI(口腔インプラント学のための国際チーム)という学術団体や日本口腔インプラント学会、北海道形成歯科研究会にも所属して研鑽を重ねてきました。インプラント先進国のスイスやアメリカにも出向き、シンポジウムや研修、症例発表などへ参加して、常に最先端の知識・技術をアップデートしています。

北海道形成歯科研究会では講師も務めていて、他人に教えるという経験も自分の学びを深めるのにつながっているように思います。

—— 治療をされる上で、患者様とのコミュニケーションはどのように取っていらっしゃいますか？

落ち着いて話せるカウンセリングルームで患者様としっかり向き合い、症状だけでなく個々の生活背景なども考え合わせながら治療プランを立てていくことですね。心からご納得いただける方針が決まるまで、何度でも相談を重ねるようにしています。

ただ治療の最中については会話するのが難しいの

で、ソフトタッチを心がけるなど言葉以外の方法で患者様の不安を取り除くように配慮しているつもりです。

—— それでは三上先生、ずばり！クリニックの強みはどこでしょうか？

患者様の歯を1本でも多く残すために歯科医を続けてきた私と、矯正治療の実績豊富な副院長、それに日本口腔インプラント学会の認定を受けたインプラント専門歯科衛生士たち。皆がそれぞれの専門性を生かして連携することで多種多様なケースに幅広く対応し、患者様にとってより良い治療方針を組める体制が整っています。

また、それを実現するための最新設備が充実しているのも大きな強みだと思います。

—— インプラント治療のスペシャリストが揃っているということですね！

ご多忙だとは思いますが、休日はどのように過ごされていますか？

休日とはいっても、土日はほとんど学会とか会議とかでつぶれてしまっているんですよね。家にいる場合でも、学会発表の準備のためにずっとパソコンに向かっていたり……。でもその合間を縫うような感じで、夏はゴルフ、冬はアイスホッケーを楽しんでいますよ。周りの仲間からは、「いつ寝ているんですか？」とよく聞かれます(笑)。

—— お休みの日にまでお仕事をされているとは恐れ入ります…。

それでは最後に、三上先生にとって、この仕事の喜びとは何でしょうか？

生まれ育った苫小牧で、大都市にも負けない歯科診療をご提供すること。地方在住だからとあきらめることなく誰もが適切な治療を受け、健康な歯を保っていけるようにサポートするのが、私にとっての喜びです。だからインプラントを入れた患者様がメンテナンスのために来院された時などに、いくつになってもイキイキと地域の中で活躍されている様子を拝見すると、心からやりがいを感じられますね。